



特別展

浮世絵の別嬪^{べっぴん}さん 一歌麿、北斎が描いた春画とともに一

2024年4月9日（火）～6月9日（日）

公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

【趣旨】

浮世絵は、江戸時代に花開いた往時を象徴する日本美術の作品群です。一般に浮世絵の享受者は、従来の朝廷や上級武家とは異なり、零細な商工業者をはじめとする町人たちであり、浮世絵は近世の庶民文化が育んだものと言われています。しかし、そうした浮世絵の中には、いわゆる版画とは異なり、比較的裕福な町人に需要者を多く持ち、さらに稀には天皇や将軍、大名たちが所有、鑑賞した絵画作品があり、浮世絵ではそれらを「肉筆画」と呼んでいます。

本展覧会は、これら一点ものの絵画作品である肉筆浮世絵のなかでも、美人画に焦点をあてたものです。美人画は、流派によって面貌や姿態の表現に個性が表れるものですが、特に絵画であるがゆえの直筆の冴えからは、同時代の大衆世界の美意識を如実に感じとることができます。展示では、浮世絵誕生直前の一七世紀の岩佐又兵衛や初期風俗画を発端とし、開祖である菱川師宣以降、江戸後期の喜多川歌麿や葛飾北斎たちに至るまでの歴代の著名な浮世絵師たちの活躍を、美人画絵画の名品でたどります。また、浮世を謳歌した江戸時代の人々の性に対するおらかさを示す事例として、艶やかで妖しい春画の名品も、合わせてご紹介いたします。

【展示数】 86 件

葛飾北斎《二美人図》江戸時代・享和（1801-04）頃 MOA 美術館蔵 重要文化財（後期展示）

【章立】

第1章：初期風俗画と又兵衛、そして師宣の誕生－17世紀

第2章：安度、長春の隆盛－18世紀前期までの美人画

第3章：春章、歌麿、栄之の精華－18世紀後期の美人画

第4章：葛飾北斎と歌川派の浮世絵師－19世紀の美人画

第5章：めくるめく春画の名品

【イベント】

■講演会 1

「美人画万歳！－浮世絵の核心を物語る、優美なアイコン」
講師：内藤正人氏（本展監修者、慶應義塾大学教授、慶應義塾大学アート・センター所長）
日時：4/14（日）14：00 から（約1時間）
会場：大倉集古館 地下1階ホール
聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）
定員：40人（事前申込制、先着順）
お申込み：大倉集古館 TEL:03-5575-5711（月～金 10:00～17:00）

■講演会 2

「春画鑑賞の視覚」（仮題）
講師：樋口一貴氏（十文字学園女子大学教授）
日時：5/11（土）14：00 から（約1時間）
会場：大倉集古館 地下1階ホール
聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）
定員：40人（事前申込制、先着順）
お申込み：大倉集古館 TEL:03-5575-5711（月～金 10:00～17:00）

■講演会 3

「北斎と弟子たち－さまざまな肉筆画」
講師：日野原健司氏（太田記念美術館主席学芸員）
日時：5/19（日）14：00 から（約1時間）
会場：大倉集古館 地下1階ホール
聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）
定員：40人（事前申込制、先着順）
お申込み：大倉集古館 TEL:03-5575-5711（月～金 10:00～17:00）

■担当学芸員によるギャラリートーク

担当：平塚泰三（当館学芸部長）
日時：4/26（金）、5/21（火）、6/4（火）各14：00 から（約1時間）
会場：大倉集古館 展示室（1階展示室 EV 前にお集まりください）
お申込み：不要（入場には入館券が必要です）

【展覧会名】 浮世絵の別嬪^{べっぴん}さん 一歌麿、北斎が描いた春画とともに一

【会期】 2024年4月9日（火）～6月9日（日）

*前期：4月9日（火）～5月6日（月・休） *後期：5月8日（水）～6月9日（日）

【開館時間】 10：00～17：00（入館は16：30まで）

※金曜日は19：00まで開館（入館は18：30まで）

【休館日】 毎週月曜日（祝休日の場合は翌火曜日）

【入館料】 一般1,500円、大学生・高校生1000円、中学生以下無料

※同会期中のリピーターは500円引き

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

※お着物（和装）でご来館の方は300円引き（割引併用不可）

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券（ランチセット5,500円、茶菓セット3,000円）

【主催】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

【企画協力】 株式会社江戸文物研究所

【協力】 株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、大成建設株式会社

【会場】 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3（オークラ東京前）

TEL:03-5575-5711、FAX：03-5575-5712

<https://www.shukokan.org/>

【アクセス】

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口（泉ガーデン方面）より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅4b出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分
- ・東京メトロ銀座線 虎ノ門駅3番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅A2出口より8分

【展覧会に関するお問い合わせ】

（広報担当） 四宮美帆子（shinomi■shukokan.org）、高野明子（takano.a■shukokan.org）

（展覧会担当） 平塚泰三（hiratsuka.t■shukokan.org）

（■を@に変えてください）

電話：03-5575-5711、FAX：03-5575-5712

特別展

浮世絵の別嬪さん 一歌麿、北斎が描いた春画とともに—
報道内覧会のご案内

2024年4月8日(月)(受付)13:30~(作品解説等)13:45~14:30(終了)15:00

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。
展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

返信先 FAX 03-5575-5712

E-mail shinomi@shukokan.org

大倉集古館 四宮美帆子 宛

■ご担当者情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者(上記以外)

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3 (オークラ東京正面玄関前)

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅改札口(泉ガーデン方面)より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より10分
- ・東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 3 番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2 出口より8分

※新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて日時や内容の変更・中止をする場合がございます。

ご来館前に当館 HP をご確認ください。

企画展

浮世絵の別嬪さん－歌麿、北斎が描いた春画とともに
広報用画像申請書

宛先:大倉集古館 学芸部 四宮美帆子 宛

FAX:03-5575-5712、E-mail:shinomi●shukokan.org (●を@に変えてください)

■ 図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・使用後のデータは破棄してください。・ウェブ上で使用する場合は、コピーガードを施してください。
- ・画像への文字のせ、加工などを希望する場合はご相談ください。・余白のトリミングは可能です。
- ・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送 DVD は 1 部ご送付ください。

希望	No	作品
	1	菱川師宣《紅葉下立美人図》1 幅、元禄元～7 年(1688～94)、個人蔵【通期展示】
	2	喜多川歌麿《歌満くら》12 図の内、天明 8 年(1788)、個人蔵【通期展示】
	3	岩佐又兵衛《伊勢物語図「梓弓」(樽屋屏風)》1 幅、江戸時代・17 世紀前期、個人蔵、重要美術品【前期展示】
	4	懐月堂安度《立美人図》1 幅 宝永～正徳(1704～16) 千葉市美術館蔵【前期展示】
	5	葛飾北斎《二美人図》江戸時代、享和 (1801-04) 頃、MOA 美術館蔵、重要文化財【後期展示】
	6	勝川春章《雪月花図》3 幅対のうち《雪図》、天明 7～8 年 (1787～88) MOA 美術館蔵、重要文化財【後期展示】
	7	勝川春章《雪月花図》3 幅対のうち《月図》、天明 7～8 年 (1787～88) MOA 美術館蔵、重要文化財【後期展示】
	8	勝川春章《雪月花図》3 幅対のうち《花図》、天明 7～8 年 (1787～88) MOA 美術館蔵、重要文化財【後期展示】

ご住所	
貴社名	
ご担当者名	
TEL/FAX	TEL: _____ FAX: _____
E-mail	
媒体名	

発行放送予定日

No. 1



No. 4



No. 3



No. 2



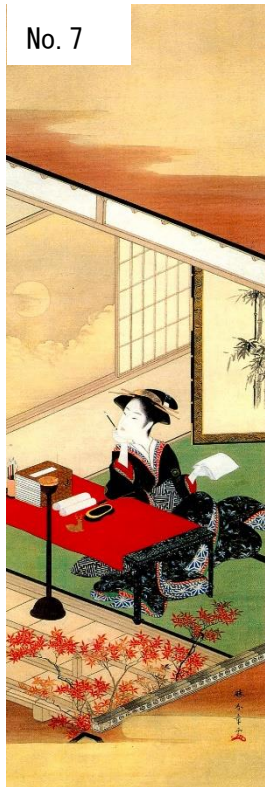
No. 5



No. 6



No. 7



No. 8

